発行／丹波市　編集／ふるさと創造部総合政策課広報広聴係
〒669-3692 兵庫県丹波市氷上町成松字甲賀1番地
市役所☎0795(82)1001　春日支所☎0795(88)5130　柏原支所☎0795(72)0544　青垣支所☎0795(87)1001　山南支所☎0795(77)0240　市島支所☎0795(85)1001　消防本部☎0795(72)2255
令和3年12月20日発行
URL https://www.city.tamba.lg.jp/
「広報たんば」は、市のホームページに掲載しています

キラッと光る丹波市の「人・もの・こと」のええなぁを紹介します。

若い力で地域の課題解決に取り組む青年団体 一般社団法人「丹波青年会議所」

まちの良いところを更に伸ばす キーワードは「+1TAMBA」

市内の20歳から40歳までの青年有志で構成する丹波青年会議所は、昭和47年10月の創立以来、「奉仕」「友情」「修練」の三つの信条のもと、より良い社会づくりを目指して、ボランティアや行政改革などの地域の課題に取り組んでいます。

今年、創立50周年を迎えるにあたり、理事長の北野裕輔さんや、会員の皆さんにこれまでの活動と今後の展望について話を聞きました。

若い力で丹波市を盛り上げる

丹波青年会議所はイベント企画などを行いながら、地域の課題解決などに取り組む団体です。会員は、市内飲食店経営者や工務店など、さまざまな職種の若い世代の43人で、丹波市を盛り上げたいと思い集まっています。

市内には恐竜化石をはじめとする豊かな自然や、女子高校野球の聖地としてのスポーツなど、市内外に自慢できる資源がたくさんあります。それらを、私たち若者のパワーでさらに発展させ、地域を盛り上げていきたいと思って活動しています。

帰丹プロジェクトを企画

「丹波市を出た人に帰ってきてほしい」、「巣立っていく子どもたちが自慢できるまちにしたい」との思いから『おもろい丹波に帰丹プロジェクト』を企画しました。

そこで、丹波市の水分れや豊かな水資源をアピールするため、水を使ったさまざまな催し物を行う「SPLASH!!丹波!!」を平成29年から3回実施しました。年々規模と参加者が増加し、約1万人が訪れる、地域に根差した夏の一大イベントに発展しています。

地域に寄り添う活動を目指して

創立から50年の間には、6町の合併や、豪雨災害、そして新型コロナウイルスの感染拡大などさまざまな出来事がありました。

青年会議所は会員の年齢が40歳で卒業となるので、これまで代替わりをしながらも、「丹波市をひとつに」という大きな目標を引継ぎながら、市民の皆さんとともに活動を進めてきました。今はコロナ禍の影響で、思うように活動ができない事もありますが、このような状況を乗り越え、地域に寄り添い続けることが私たちの使命だと思っています。

「+1TAMBA」を広めたい

新たな展望として「+1TAMBA」という合言葉を掲げ、道の駅丹波おばあちゃんの里にモニュメントを設置しました。丹波市の足りないところを補うという意味の「+1」ではなく、良いところを更に伸ばしていきたいという想いを込めています。

まちの良いところや、皆さんが思う「+1」をSNSなどで、どんどん発信し、ポジティブな話題であふれるまちにしたいです。「+1TAMBA」で私たちと一緒にまちを盛り上げていきましょう。